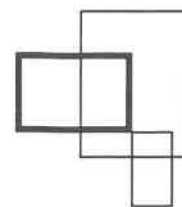




Matsuyama  
Business  
College

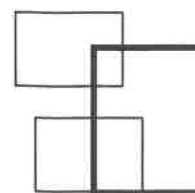
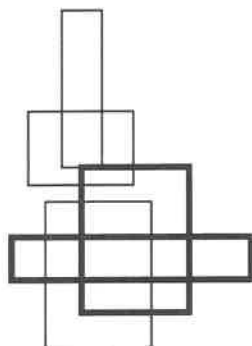


# 松山デザイナー専門学校

## ファッションビジネス学科

2024 年度

# シラバス



スタイリストコース 1年

名前

※一年間、各自保管すること



令和6年度

服飾家政専門課程 ファッションビジネス学科 スタイリストコース

必修 / 選択	区分	科目名	種別	担当者	スタイリストコース 1年			
					前期	後期	単位	
必修	学科 共通	色彩学Ⅰ	講義	森田	30		2	
		ファッション知識Ⅰ	講義	桑原	30		2	
		西洋服飾史	講義	秋山	30		2	
		Mac実習Ⅰ	実習	四田	30		1	
		写真撮影技法Ⅰ	実習	重岡	60		2	
		服飾造形基礎	実習	野口	30		1	
		ショッピングマスターⅠ	講義	武智	30		2	
		ファッションビジネスⅠ	講義	大方	60		4	
		スタイリング実習Ⅰ	実習	稲美	30		1	
		業界研究	講義	特別講師	30	30	4	
		色彩学Ⅱ	講義	森田		30	2	
		ファッション知識Ⅱ	講義	桑原		30	2	
		Mac実習Ⅱ	実習	野田		30	1	
		写真撮影技法Ⅱ	実習	服部		30	1	
		服飾造形応用	実習	野口		30	1	
		ショッピングマスターⅡ	講義	武智		30	2	
		ファッションビジネスⅡ	講義	大方		60	4	
		マーケティングⅠ	講義	大方		30	2	
		スタイリング実習Ⅱ	実習	稲美		30	1	
		コ ー ス	ヘアメイク実技・理論Ⅰ	実習	高岡	60		2
	ネイル実技・理論Ⅰ		実習	水本	60		2	
	ヘアメイク実技・理論Ⅱ		実習	高岡		30	1	
	ネイル実技・理論Ⅱ		実習	水本		60	2	
	必修科目 合計					480	420	44
						900		
	年間合計時間/単位数					900		44

1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。

授業科目	色彩学 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子			時間割	金曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	色彩に関する基本的な理論と必要性を理解し、色に慣れ親しむ。						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格できる知識の習得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師 が、その経験を活かし、色彩の基本的理論を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1~2	概論ー色彩の働き	生活における色彩、ファッションにおける色彩					
3	色彩の体系	色の三属性					
4~5	〃	ヒュー&トーン					
6~7	色彩理論ー基礎	色の成り立ち、光と色、三原色と混色					
8	〃	視覚と色					
9~10	〃	色彩と心理					
11~12	色彩の技術	配色の基礎					
13~14	〃	色彩構成の基礎					
15	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩 I : 日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験3級問題集 : 日本ファッション教育振興協会 カラーカード BASIC COLOR140 B6判(品番:23177) 3M スリーエム ポストイット カバーアップテープ 8.5mm(コード:31247818)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	修了テスト100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2025年1月18日(土)		
備考							

授業科目	ファッション知識 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	桑原 美知			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	レディースアイテム知識を学ぶ。						
学習到達 目標	現場で通用するアイテム知識を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、アイテム知識・コーディネート技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	概要	ファッションアイテムについて					
2		アイテムの分類					
3	レディースアイテム	ブラウス					
4		シャツ					
5		ワンピース					
6		ブランドごとのアイテム特徴					
7		スカート					
8		パンツ①					
9		パンツ②					
10		ブランドごとのアイテム特徴					
11		ジャケット					
12		アウター①					
13		アウター②・スーツ					
14		ブランドごとのアイテム特徴					
15		まとめ					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献	『ファッション販売能力検定3級公式テキスト』一般財団法人 日本ファッション教育振興協会						
成績評価の 方法・基準	ノート20%、課題80%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備する。						

授業科目	<b>西洋服飾史</b>			時間数 (コマ数)	<b>30 (15)</b>	単位数	<b>2</b>
担当教員 (資格等)	<b>秋山 讓司</b>			時間割	時間割参照	開講期	<b>前期</b>
選択/必修	<b>必修</b>	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	洋服の歴史を時系列で理解することで時代ごとの各ファッションの成り立ちを掘り下げる。						
学習到達 目標	洋服の歴史を知ることで今後のファッション業界を考える基礎を作る。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	歴史的背景と洋服	歴史の事象とファッションの関係性を掘り下げて考察					
2	各国のファッション	古着、ビンテージ、アンティークから世界の洋服の傾向を考察					
3	50sファッションと背景	世界大戦とその後に生まれたカルチャーとの関連性					
4	60sファッションと背景	ファッション熱が上がった背景と音楽、アートとの関連性					
5	70sファッションと背景	新たなムーブメントとプレタポルテ					
6	80sファッションと背景	MIXカルチャーの始まりとリバイバル					
7	レポート	レポート発表					
8	雑誌とファッション	雑誌の変遷とファッションとの関係					
9~10	MIXカルチャーとストリート	様々なストリートカルチャーの考察					
11	90sファッションと背景	MIXカルチャーの成熟とその背景					
12	00sファッションと背景	ビッグメゾンの復活とモードとストリートの関係					
13	最近の世界のファッション	2010以降のファッションの流れを考察					
14	2024以降のファッション	今後のファッションシーンの予測					
15	レポート	レポート発表					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	レポート2回それぞれ50%ずつで評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	<b>Mac実習 I</b>			時間数 (コマ数)	<b>30 (15)</b>	単位数	<b>1</b>
担当教員 (資格等)	<b>四田 素子</b>			時間割	<b>月曜 3限</b>	開講期	<b>前期</b>
選択/必修	<b>必修</b>	講義/実習	<b>実習</b>	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ビジネスに必要な『Microsoft Word』『Microsoft Excel』『Microsoft PowerPoint』の基本操作を学習し、 実践できるスキルを習得する。						
学習到達 目標	基本的なビジネス文書やイラストを用いた表現力のある文書、表やグラフ、各種関数が組み込まれた ワークシート、見やすく効果的なプレゼンテーション資料が作成できる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Word ①	Wordの基本操作を学ぶ					
2	Word ②	Wordで基本的な文書を作成する					
3	Word ③	画像や図形を活用した文書を作成する					
4	Word ④	表を活用した文書を作成する					
5	Word 演習	Wordの復習として演習課題を解く					
6	PowerPoint ①	PowerPointの基本操作を学ぶ					
7	PowerPoint ②	オブジェクトを挿入し視覚効果の高い資料を作成する					
8	PowerPoint ③	プレゼンテーションに動きを設定する					
9	PowerPoint 演習	PowerPointの復習として演習課題を解く					
10	Excel ①	Excelの基本操作を学ぶ					
11	Excel ②	データを計算し表の体裁を整える					
12	Excel ③	いろいろな関数を利用する					
13	Excel ④	グラフ機能やデータベース機能を利用する					
14	Excel 演習	Excelの復習として演習課題を解く					
15	まとめ	WordとExcelを連携した書類を作成する					
使用テキスト 教材・教具	『今すぐ使えるかんたんOffice for Mac』Office2021/Microsoft365 両対応/技術評論社						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、課題作成70%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	写真撮影技法 I			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	重岡 真美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	撮影に関する基礎知識とカメラ技術について学び、ファッションと写真の関わり方を理解する。また、ファッション業界に関わるSNSの効果。						
学習到達 目標	SNS・ネット販売の運用。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 雑誌や広告などのカメラマン経験がある講師がその経験を活かし、撮影に関する基礎知識や技術、編集や印刷工程との連携などを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1~2	フォトディレクション思考	SNS時代の写真とディレクション ファッション業界における写真の有用性を知る / イメージを伝える写真と理解してもらうための写真の違い / 撮影能力と同等に必要なディレクション能力について 撮影の段取りと準備 実際の現場の写真の例に挙げ撮影準備やそのコンセプトを学ぶ / ファッション写真の撮り方とその方法					
3~4	カメラ&撮影基礎知識	デジタル時代の写真と機材(レンズ含む) データの扱いについて / レンズの違いによる作品の違い / DPI(解像度)の違いや画像形式、その取扱い / カメラの使い方、モードと撮影方法について / 画像補正方法					
5~6	写真表現	光の強さ/光の方向 光の違いによる写真の違いとコントロール方法を学ぶ 実習1 スマートフォンを使ってさまざまな光を探して小物を撮る *イメージ写真と説明写真をファッション小物を題材に撮ってみる *撮影した画像をスマートフォン内のアプリを使ってタッチしてみる					
7~8	写真表現	アングル/背景/構図 アングルや構図、背景の違いを知る 実習2 スマートフォンを使ってさまざまな背景を使って小物を撮る *イメージ写真と説明写真をファッション小物を題材に撮ってみる *撮影した画像をスマートフォン内のアプリを使ってタッチしてみる					
9~10	メディア別写真	紙とwebと写真 写真の撮影紙表現用撮影とWEB撮影用の違いとその撮影アプローチ / 写真レイアウトや撮影後のデザイントリミングの有用性などWEB×写真 / デジタル技術の浸透とDX化によるWEB×写真 / SNS×写真					
11~16	撮影テクニック (一眼レスカメラ使用)	実習3 人物編—撮影からタッチまで 実習4 商品撮影編—撮影からタッチまで 実習5 課題研究(撮影から画像現像まで)オリジナルと現像後画像の提出					
17~18	現場撮影研究	イメージフォトと説明フォトを取り分ける					
19~20	課題準備	課題研究準備(グループワーク/リサーチ、コンセプト決め)					
21~22	作品制作(1)紙作品	実習6 コンセプトをプレゼン/撮影準備/リサーチ					
23~24		実習7 セッティング・ライティング 撮影 実習8 撮影データを作品に作り上げる 実習9 作品発表&投票					
25~26		課題準備(個人制作/リサーチ、コンセプト決め)					
27~28		実習10 コンセプトをプレゼン/撮影準備/リサーチ 実習11 セッティング・ライティング、撮影データをもとに作品に作り上げる					
29~30	作品集制作	個人作品制作 実習12 作品をプレゼン					
使用テキスト 教材・教具	スマホ、カメラ(一眼・デジカメ)、リングライトなど						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題40%、作品60%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	Adobe Lightroomを使用します						



授業科目	服飾造形基礎			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1	
担当教員 (資格等)	野口 陽子			時間割	時間割参照	開講期	前期	
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年			
授業科目の テーマと目的	洋服の製作工程である縫製の知識と技術の修得を目指す。							
学習到達 目標	基本的な手縫い、ミシンの扱いができる。							
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、縫製の知識と技術について指導する。						
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度							
1	授業ガイダンス・ミシン操 作	授業、制作物について・ミシンの扱い・糸の掛け方						
2	ミシン練習	直線縫い・雑巾						
3	ロックミシン操作	ミシンの扱い・糸の掛け方・靴下巻きロック						
4	手縫いの基礎1	玉結び・玉止め・ぐし縫い・返し縫い・ぐし縫い						
5	手縫いの基礎2	まつり・たてまつり・千鳥かけ						
6	手縫いの基礎3	カギホックつけ・スナップつけ						
7	手縫いの基礎4	ボタンつけ						
8	トートバック製作	裁断						
9	トートバック製作	ミシン、ロックミシンを使用して縫製						
10	トートバック製作	ミシン、ロックミシンを使用して縫製、仕上げ						
11	修了テスト	修了テスト						
12~13	シルクスクリーン	愛媛美術館にてロゴをプリント						
14~15	シルクスクリーン	愛媛美術館にてロゴをプリント						
使用テキスト 教材・教具	洋裁道具、配布プリント、障子紙、カラー不織布、ホッチキス							
参考図書 参考文献								
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する。							
履修上の 留意点				検定試験の 概要				
備考	制作に関わる生地・糸・副資材は自己負担。							

授業科目	ショップマスター I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	武智 弘晃			時間割	水曜2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ショップマスター(店長)をはじめ、売り場で販売に携わるスタッフのショップ運営の基本を理解する。						
学習到達 目標	ショップマスターの仕事を理解する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 店長として経験のある講師がその経験を活かし、店長業務に関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	自己紹介、コミュニケー ション	自己紹介・自己PR・コミュニケーション					
2～3	コミュニケーション能力向 上vol.1	基本的なビジネスコミュニケーション能力向上を目的					
4	ショップマスターの仕事	企業研究・企業の仕組み・店長業務					
5～7	販売員の姿勢・敬語	社会人の基本的な姿勢・敬語講座					
8	ミニテスト	中間テスト					
9～11	接客プロセス研究	接客のプロセスフローの基本を学ぶ					
12～14	売上計算とHOW TO	販売する上で必要な専門用語と計算方法					
15	まとめテスト						
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	まとめテスト100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備すること。						

授業科目	ファッションビジネス I			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	大方 和則			時間割	木曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ファッションビジネス能力検定3級テキストを進めながらファッション業界の基礎知識を習得する。						
学習到達 目標	ファッションビジネス能力検定3級合格						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ、店長、バイヤー・マネージャーなどの経験を活かし、学生に指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	3級テキスト	ビジネス1章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
3～4	3級テキスト	ビジネス2章 3章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
5～6	3級テキスト	ビジネス3章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
7～8	3級テキスト	ビジネス4章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
9～10	3級テキスト	ビジネス5章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
11～12	3級テキスト	ビジネス6章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
13～14	3級テキスト	ビジネス7章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
15～16	3級テキスト	ビジネス8章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
17～18	3級テキスト	ビジネス8章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
19～20	3級テキスト	造形1章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
21～22	3級テキスト	造形2章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
23～24	3級テキスト	造形3章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
25～26	3級テキスト	造形3章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
27～28	3級テキスト	造形4章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
29～30	3級テキスト	造形5章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う				
使用テキスト 教材・教具	『ファッションビジネス3級新版』日本ファッション教育振興協会 『FB能力検定試験3級項目別試験問題・解答集改訂版』日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題を100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッションビジネス能力検定3級 2024年11月中旬		
備考	基本的にオンライン授業になる為、PCとイヤホンを持参。出席の意識を強くもつこと。						

授業科目	スタイリング実習 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	コーディネート基礎を学び、スタイリングブックを制作する。						
学習到達 目標	現場で通用する知識・技術を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、コーディネート技術やプレゼン法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	概論	スタイリストについて					
2～3	スタイリストバッグ	スタイリストバッグについて(各自作成)					
4～5	スチームアイロン	スチームアイロンの使い方、Tシャツ他アイロンがけ					
6～7	底張り	底張りの必要性、実践					
8～9	コーディネート実習	ボディの扱い方、リース方法					
10～11	コーディネート実習	テーマを決めてコーディネート					
12～13	コーディネート実習	モデルにコーディネート、撮影					
14～15	コーディネート実習	モデルにコーディネート、撮影					
使用テキスト 教材・教具	スチームアイロン、ビニールテープ						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する。						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を用意する。				検定試験の 概要		
備考	各自ノート、ファイルを準備する。						

授業科目	<b>業界研究</b>			時間数 (コマ数)	<b>60 (30)</b>	単位数	<b>4</b>
担当教員 (資格等)	<b>特別講師</b>			時間割	<b>時間割参照</b>	開講期	<b>通年</b>
選択/必修	<b>必修</b>	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	各分野の第一線で活躍されている講師による特別授業。専門学校の授業が実社会でどのように結びついているのかなど、知識だけではなく多方面から取り組む授業を実施。						
学習到達 目標	主体性や、ファッションに関する創造性・興味・関心・意欲を向上させる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 各分野の第一線で活躍されている講師陣による特別授業。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	舞台衣装						特別講義 1
3～4	テキスタイル						特別講義 2
5～6	ショップマスター						特別講義 3
7～8	スタイリスト						特別講義 4
9～10	デザイン						特別講義 5
11～12	ポートフォリオ						特別講義 6
13～14	コスチューム						特別講義 7
15～16	メンズ						特別講義 8
17～18	レディース						特別講義 9
19～20	カメラ、映像						特別講義 10
21～22	ライティング						特別講義 11
23～24	スタイリスト						特別講義 12
25～26	ブランド						特別講義 13
27～28	経営						特別講義 14
29～30	就職、キャリア						特別講義 15
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	色彩学Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	商品企画やデザイン・販売における具体的事例に触れながら活用イメージを膨らませ、提案できる色彩スキルの基礎を身につける。						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師が、その経験を活かし、色彩スキルの基礎を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション産業と色彩	ファッション産業における色彩の役割					
2	〃	企画段階の色彩、生産段階の色彩、流通段階の色彩					
3	〃	染色について					
4	〃	ビジュアルマーチャンダイジング(VP・PP・IP)					
5	〃	照明の色と種類					
6~12	検定対策	過去問題集から模擬テスト、解答解説、試験勉強対策					
13	パーソナルカラー診断	診断の概要、デモンストレーション、ファッションへの応用					
14	骨格診断	診断の概要、デモンストレーション、ファッションへの応用					
15	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅰ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験3級問題集：日本ファッション教育振興協会 カラーカード BASIC COLOR140 B6判(品番：23177) 3M スリーエム ポストイット カバーアップテープ 8.5mm(コード：31247818)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%、修了テスト30%、検定40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2025年1月18日(土)		
備考							

授業科目	ファッション知識Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2	
担当教員 (資格等)	桑原 美知			時間割	時間割参照	開講期	後期	
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年			
授業科目の テーマと目的	メンズ・キッズアイテム、服飾雑貨知識を学ぶ。							
学習到達 目標	現場で通用するアイテム知識を習得する。							
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、アイテム知識・コーディネート技術を指導する。						
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度							
1	メンズアイテム	アイテムの分類						
2		スーツ						
3		ジャケット						
4		ブランドごとのアイテム特徴						
5		シャツ						
6		ニット						
7		カットソー						
8		ブランドごとのアイテム特徴						
9	子供服	概要、ベビー						
10		トドラー						
11		キッズ						
12	服飾雑貨	スカーフ、マフラー、ネクタイ						
13		アクセサリ、靴						
14		バッグ、ハット						
15	まとめ							
使用テキスト 教材・教具								
参考図書 参考文献	『ファッション販売能力検定3級公式テキスト』一般財団法人 日本ファッション教育振興協会							
成績評価の 方法・基準	ノート20%、課題80%で評価する。							
履修上の 留意点				検定試験の 概要				
備考	各自ノートを準備する。							

授業科目	<b>Mac実習Ⅱ</b>			時間数 (コマ数)	<b>30 (15)</b>	単位数	<b>1</b>
担当教員 (資格等)	<b>野田 光晴</b>			時間割	<b>時間割参照</b>	開講期	<b>後期</b>
選択/必修	<b>必修</b>	講義/実習	<b>実習</b>	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	Adobe Illustrator、Photoshopを中心に基本操作から応用までのテクニックを修得できクリエイションデザインの幅を広げることが目標。						
学習到達 目標	ハンガーイラスト、スタイル画をPCで描ける。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Illustratorの基本操作Ⅰ	直線と曲線①					
2	Illustratorの基本操作Ⅰ	直線と曲線②					
3	Illustratorの基本操作Ⅰ	直線と曲線③					
4	Illustratorの基本操作Ⅱ	キャラクターを描こう①ドラえもん					
5	Illustratorの基本操作Ⅱ	キャラクターを描こう②好きなキャラクター					
6	Photoshop基本操作Ⅰ	マガジンの表紙をつくろう①					
7	Photoshop基本操作Ⅰ	マガジンの表紙をつくろう②					
8	Photoshop基本操作Ⅰ	マガジンの表紙をつくろう③					
9	Photoshop基本操作Ⅱ	Photoshopで着色①					
10	Photoshop基本操作Ⅱ	Photoshopで着色②					
11	Photoshop基本操作Ⅱ	Photoshopで着色③					
12	企画MAP制作	テーマからのimageMAP					
13	企画MAP制作	スタイル画					
14	企画MAP制作	ハンガーイラスト					
15	企画MAP制作	プレゼンテーション					
使用テキスト 教材・教具	プリント配布						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題60%、プレゼンテーション40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							



授業科目	<b>写真撮影技法Ⅱ</b>			時間数 (コマ数)	<b>30 (15)</b>	単位数	<b>1</b>
担当教員 (資格等)	<b>服部 拓也</b>			時間割	時間割参照	開講期	<b>後期</b>
選択/必修	<b>必修</b>	講義/実習	<b>実習</b>	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	カメラ機材の扱い方、撮影技術を学び、撮影によるファッションの表現方法を考える。実際に撮影を通じて、ファッションのイメージを深め、それを表現する撮影テクニックを学ぶ。						
学習到達 目標	一眼カメラを用いて、イメージを撮影により表現する。						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～3	実習1	ファッション撮影とは、機材の扱い方、ロケーション撮影					
4～6	実習2	撮影ライティング基礎、モデル撮影					
7～9	実習3	テーマ設定、モデル撮影					
10～12	実習4	テーマ設定、モデル撮影					
13～15	実習5	作品集					
使用テキスト 教材・教具	カメラ(一眼)、その他撮影機材						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	服飾造形応用			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野口 陽子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	洋服の製作工程である縫製の知識と技術の修得を目指す。						
学習到達 目標	ミシンや縫製技術を用いて商品のアレンジができる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、縫製の知識と技術について指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	授業ガイダンス	授業、制作物について・アイロン定規(紙定規)を作成					
2	ガーメントバック製作	パターン作成・型紙カット					
3	ガーメントバック製作	裁断					
4	ガーメントバック製作	ミシン、ロックミシンを使用して縫製					
5	ガーメントバック製作	パイピング					
6	ガーメントバック製作	ファスナーつけ					
7	ガーメントバック製作	仕上げ					
8	ガーメントバック製作	仕上げ					
9~10	ギャザースカート製作	ギャザー・ウエストゴム入り					
11~12	部分縫い	カスタマイズ・ファスナーつけ					
13~14	カスタマイズ	カスタマイズ・ボタンホーラー使用					
15	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	洋裁道具、配布プリント、障子紙、カラー不織布、ホッチキス						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	制作に関わる生地・糸・副資材は自己負担。						

授業科目	ショップマスターⅡ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	武智 弘晃			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ショップマスター(店長)をはじめ、売り場で販売に携わるスタッフのショップ運営の基本を理解する。マップやショップ見学を通し、実際の現場の構成を把握し、リサーチ力と自分のプランを創り出す。						
学習到達 目標	ショップマスターの仕事を理解する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 店長として経験のある講師がその経験を活かし、店長業務に関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	前期振り返り						前期授業の振り返り
2～3	情報収集とアウトプット						インプットとアウトプット
4	セールスポイント研究						商品の特性を“見つける”“伝える”
5	販売心理学						顧客の購買行動・心理を研究
6	コミュニケーション能力向上vol.2						vol.1を踏まえたコミュニケーション能力の研究
7～8	レイアウト講座						導線やフォーカルポイントの作成/他業種のVMD研究
9～12	他業種研究・プレゼン						実店舗での接客体験・レイアウトを研究・プレゼン
13～14	販売RPG実技テスト						実技テスト
15	まとめテスト						まとめテスト(筆記)
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	筆記テスト50%、実技テスト50%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備すること。						

授業科目	ファッションビジネスⅡ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	大方 和則			時間割	木曜 1-2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ファッションビジネス能力検定3級テキストを進めながらファッション業界の基礎知識を習得する。						
学習到達 目標	ファッションビジネス能力検定3級合格						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ、店長、バイヤー・マネージャーなどの経験を活かし、学生に指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	検定直前対策①	FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う					
3～4	検定直前対策②	FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う					
5～6	検定直前対策③	FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う					
7～8	検定直前対策④	FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う					
9～10	検定直前対策⑤	FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う					
11～12	検定直前対策⑥	FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う					
13～14	検定直前対策⑦	FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う					
15～16	検定直前対策⑧	FBI内で解いた過去問の結果をもとに、各自正答率の低い分野を集中的に復習し、再度その分野の過去問を解き、解説を行う					
17～18	検定解説	2024年11月実施分の解説					
19～20	2級テキスト ビジネス1章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
21～22	2級テキスト ビジネス2章3章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
23～24	2級テキスト ビジネス3章4章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
25～26	2級テキスト ビジネス5章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
27～28	2級テキスト ビジネス6章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
29～30	2級テキスト ビジネス7章	テキスト学習後、過去問を解き、結果をもとに解説を行う					
使用テキスト 教材・教具	『ファッションビジネス3級新版』・『FB能力検定試験3級項目別試験問題・解答集改訂版』・『ファッションビジネス2級新版』・『FB能力検定試験2級項目別試験問題・解答集』 日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題を100%で評価する。						
履修上の 留意点		検定試験の 概要	ファッションビジネス能力検定3級 2024年11月中旬				
備考	基本的にオンライン授業になる為、PCとイヤホンを持参。出席の意識を強くもつこと。						

授業科目	マーケティング I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大方 和則			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	実際に店舗開発をシミュレーションし、ファッションマーケティングを実践的に学ぶ。						
学習到達 目標	ファッションマーケティングの基礎知識を説明できる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ、店长、バイヤー・マネージャーなどの経験を活かし、学生に指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション業界の現状	現在の市場動向を把握 マーケティングとは					
2	店舗企画	価値の創出 コンセプト パーパス					
3	店舗企画	スタイリングイメージ					
4	店舗企画	STP分析					
5	店舗企画	バイイング SS					
6	店舗企画	バイイング AW					
7	店舗企画	PB企画 生産生産					
8	店舗企画	PB企画 海外生産					
9	店舗企画	立地戦略					
10	店舗企画	52週MD VMD					
11	店舗企画	FA・接客・マネジメント					
12	店舗企画	デジタル戦略(EC・バーチャルショップ メタパース ライブコマース)					
13	店舗企画	プレスについて					
14	店舗企画	3ヶ年予算計画 初年度月別予算					
15	総論	プレゼンテーション					
使用テキスト 教材・教具	パソコン						
参考図書 参考文献	ファッションビジネス能力検定2.3級 ファッション販売能力検定2.3級						
成績評価の 方法・基準	課題を100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	基本的にオンライン授業になる為、PCとイヤホンを持参。出席の意識を強くもつこと。						

授業科目	スタイリング実習Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	コーディネート応用の学び、スタイリングブック制作。						
学習到達 目標	現場で通用する知識・技術を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、コーディネート技術やプレゼン法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	モデルにコーディネート						テーマ決め、準備
3～4	モデルにコーディネート						撮影
5～6	モデルにコーディネート						撮影のプレゼン、振り返り
7～8	コーディネート実習						コーディネートを組んで撮影
9～10	コーディネート実習						コーディネートを組んで撮影
11～12	コーディネート実習						コーディネートを組んで撮影
13～14	コーディネート実習						コーディネートを組んで撮影
15	まとめ						まとめ
使用テキスト 教材・教具	スチームアイロン、ビニールテープ						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する。						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を用意する。				検定試験の 概要		
備考	各自ノート、ファイルを準備する。						

授業科目	ヘアメイク実技・理論 I			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	高岡 笑子			時間割	火曜 3,4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年		
授業科目の テーマと目的	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を復習しながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする。						
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分仕上げ。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	道具について	備品や道具についての説明					
2	ヘアメイクについて	ヘアメイクについての講義・分析など					
3～5	メイク基礎	ベースメイク～眉の描き方 等					
6～8	ヘア基礎	ウィッグの扱い・ゴムの結び方・ピンの留め方 等					
9～12	メイク基礎	ポイントメイク 等					
13～17	ヘア基礎	コテの使い方・編み込み基本					
18～23	ヘアメイク	学園祭ショーヘアメイク練習					
23～26	メイク応用	テーマに合わせてのメイク					
27～28	ヘア応用	テーマに合わせてのヘア					
29～30	ヘアメイク	ヘアとメイク両方での作品作り					
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%の比率で評価する。						
履修上の 留意点		検定試験の 概要					
備考							

授業科目	ネイル実技・理論 I			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	水本 信子 (Nail&Aroma リヤド)			時間割	月曜 1,2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年		
授業科目の テーマと目的	日本ネイリスト協会本部認定講師のネイリストがオーナーを務める『Nail&Aroma リヤド』と連携し、ネイルに関する基礎的な理論と技術を身に付け、JNECネイリスト技能検定試験3級、JNAジェルネイル技能検定試験初級の取得を目指す。						
学習到達 目標	JNECネイリスト技能検定試験3級・JNAジェルネイル技能検定試験 初級取得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ネイルサロンでの施術・接客、ネイル検定試験の試験官経験のある講師が、その経験を活かし、ネイルの知識や技術、検定試験対策などを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	プレマニキュア、カットスタイル	テーブルセッティング・用具用材・カットスタイルについて、理論 実技					
3～4	爪の構造と働き、ネイルケア	理論 ネイルケア(ファイリング・カラーリング・ポリッシュオフ)					
5～6	化粧品学、ネイルケア	理論 ネイルケア(キューティクルクリーン)					
7～8	消毒法、ネイルケア	理論 ネイルケア(相モデル)					
9～10	消毒法、ネイルケア	理論 ネイルケア(相モデル)					
11～12	歴史、技術体系、ネイルケア	理論 ネイルケア(相モデル)					
13～14	爪の病気とトラブル、ネイルケア	理論 ネイルケア(相モデル)					
15～16	色彩理論、ネイルアート	理論 ネイルケア(相モデル)					
17～24	3級検定対策	ネイルケア・ネイルアート					
25～30	ジェルネイル	ジェルネイル理論 実技					
使用テキスト 教材・教具	『JNAテクニカルシステムベーシック』NPO法人日本ネイリスト協会、ネイルケア用具用剤、ジェルネイル用具用剤						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	実技30%、理論理解度30%、検定試験40%で評価する。						
履修上の 留意点		検定試験の 概要	JNECネイリスト技能検定試験3級:2024年7月14日(日)・JNAジェルネイル技能検定初級:2024年10月受験予定				
備考							



授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	高岡 笑子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年		
授業科目の テーマと目的	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基本をおさえつつ、自ら創造し作品を作り上げていけるように学習していく。						
学習到達 目標	フルヘアメイク作品を90分で作れるようになる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～4	テーマ別ヘアメイク						相モデルでヘアメイク
5～8	テーマ別ヘアメイク						相モデルでヘアメイク
9～12	卒進展用ヘアメイク						ポートフォリオなどに使用できる作品を創る
13～15	卒進展用ヘアメイク						ポートフォリオなどに使用できる作品を創る
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ネイル実技・理論Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	水本 信子 (Nail&Aroma リヤド)			時間割	月曜 1,2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年		
授業科目の テーマと目的	日本ネイリスト協会本部認定講師のネイリストがオーナーを務める『Nail&Aroma リヤド』と連携し、プロレベルのネイル理論と技術を身に付け、JNAジェルネイル技能検定初級、中級の取得を目指す。						
学習到達 目標	JNAジェルネイル技能検定試験 初級・中級取得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ネイルサロンでの施術・接客、ネイル検定試験の試験官経験のある講師が、その経験を活かし、ネイルの知識や技術、検定試験対策などを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	ジェルネイル初級	実技・筆記試験対策					
3～4	検定試験	JNAジェルネイル技能検定試験 初級					
5～6	ジェルネイル	ジェルグラデーション					
7～8		ジェルフレンチ					
9～12		ジェルスカルプチュア					
13～22	ジェルネイル中級	実技 筆記試験対策(相モデルorハンド)					
23～28		ネイルケア・グラデーション・フレンチ・ジェルスカルプチュア					
29～30	検定試験	JNAジェルネイル技能検定試験 中級					
使用テキスト 教材・教具	ジェルネイル用具用材						
参考図書 参考文献	『JNAテクニカルシステム ジェルネイル』NPO法人日本ネイリスト協会						
成績評価の 方法・基準	実技30%、理論理解度30%、検定試験40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	JNECネイリスト技能検定試験3級:2024年7月 14日(日)・JNAジェルネイル技能検定初級:2024 年10月受験予定		
備考							